

指定地域密着型サービス外部評価 自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項 目		取り組みの事実 (実施しています内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいますことも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念の意味をしっかりと理解して、地域の中でその人らしく暮らし続けられるように頑張っています。(新しい職員が増えこれからも理念を理解してもらえるように努力する)	○	あすかで生活を共にする限り今後もずっと地域の中でその人らしく生活を続けるにはどのようなサービスが出来るのかについては取り組んでいく必要があると思います。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝、申し送り後職員全員で唱和しています。一つ一つの言葉を、意味を理解し実践出来るようにまた活かしたケアが出来るように心がけ、個々に取り組んでいます。(少しずつですが入居者の笑顔を見ることが出来るようになってきたとの思いがあります)	○	理念について互いに考え方を話し合っています。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	理念は、職員の目に付く場所(ケアステーション等)に掲示しています。	○	家族には毎月発行していますあすかだよりに、掲載して理解していただくようにしてみます。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩時、挨拶が気軽に出来るようになってきています。また季節の花を頂いています。出勤、退社時等お会いした時挨拶を交わし、なじみにの関係を築けるように心がけています。	○	交流の場をふやしていきたいと思っています。(難しい)
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地元の小学校との交流が続いており、秋には数多くの地域の獅子舞の訪問があり、入居者の方は大変楽しみにしています。運動会にも参加し地元の人達に逢えるのを楽しみにしています。	○	地区の代表の方と共に出来ることはないか検討中です。(防災、清掃など)

項目		取り組みの事実 (実施しています内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいますことも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	利用者や家族の方への対応で精一杯で地域の高齢者の方々にまでは出来ていません。	○	地域貢献は出来ていないし、取り組もしていません。(何が出来るか検討中)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員には、外部評価を理解してもらい、前回の評価を参考にして、全員が改善に向かって取り組んでいます。(全員に参加してもらい意義の理解に取り組んでいます)		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の中で情報の提供、報告等を通して意見を聞き、サービスの向上を目指しています。	○	話し合いでの意見を職員に伝達することで、共有は出来ていると思います。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所としては 常に市担当者との関係をしっかりと図りサービスの向上に、繋げるように努力をしています。	○	意見をしっかりと聴き、サービスの向上に繋げられるようにしています。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	相談を受けた利用者に対して事業所としての対応はできていますが、なかなか勉強の機会が持てていません。	○	勉強会を開いて行きたいと思っています。(勉強不足を痛感しています)
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	申し送り、勉強会にて報告し、見過ごしが無いように気を付けています。常に管理者、職員はケアの中に、虐待などが隠れていることがありえるという意識を持ち注意を払っています。(介助時にも注意するように指導しています)	○	勉強会を開いています。

項 目		取り組みの事実 (実施しています内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいますことも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	家族・本人の不安、要望をしっかりを受け止めて、十分な説明を行い、納得、安心して頂ける様な対応を心がけています。	○	今一度十分理解・納得されていますか説明時注意をして行きたいと思います。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の意見(気持ち)はケア(関わり)の中で活かせるようにしています。また介護相談員との連携を持ち、利用者の気持ちを運営に反映出来るように取り組んでいます。	○	介護相談員との関係をしっかりとさせ、意見を聴き出来るだけ反映させています。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	その日のリーダー、管理者、看護師等がその時の状況に応じて連絡を行っています。職員の紹介は必要に応じて来ています。	○	責任者は情報をしっかり把握し、家族との報告の確認をおこなっています。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約・面会時など機会があるごとに声かけを行い、意見を伺っています。(苦情は必ず記録に残しています)	○	面会時は必ず声かけして意見を聴くようにしています。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	話し合う時間を設けて自由に話し合える雰囲気作りをしています。(気軽に意見や想いを言える環境を目指しています)	○	業務終了後話し合いの時間を取っています。(管理者が時間あるとき何時でも話が聞ける体制が出来つつあります)
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	状況の変化時、要望に対して対応できています。(行事がある時は勤務調整を行っています)		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は入居の方が安心して生活できるようにサポートが出来る体制を取っています。	○	主となる職員の異動は行っていません。

項目		取り組みの事実 (実施しています内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいますことも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修には積極的に参加できる体制になっています。	○	時間があれば研修を行っています。(必要になれば)情報の周知は常に行っています。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ただいま検討中です。研修で知り合った方とはお互いに連絡を取り合いサービスの向上に繋げていきたい。	○	事業所同士の交流は大切と思っています。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	常に職員の動きに注意を払い、声かけを行い、働きやすい環境作りに心がけています。(カラオケ、食事会などを開催しています)	○	スタッフ間同士でストレスを話し合ったり、又、異動(担当ユニット)する事で対応しています。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	資格取得の為に休暇の希望は優先しています。また情報も積極的に提供しています。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人が困っていますこと、不安に思っていますことをしっかりと受け止めて、安心して頂ける様心がけています。		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族との信頼関係は少しずつですが築けていますと思います。常に面会時等の機会を捉えてお話を伺えるような雰囲気作りをしています。(面会時必ず声かけを行っています)		

項目		取り組みの事実 (実施しています内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいますことも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	何が問題かを把握し十分な話し合いを行い安心して頂ける様にしています。(スタッフも協力)		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	出来ています。家族からの情報、また本人の思いをゆっくりと関わり把握することで徐々にサービスが開始できるように工夫しています。	○	関わりを大切にしています。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	出来ていますと思う。一緒に過ごしながら色々なことを教えてもらっています。毎日の生活の中で共に支えあって生活できる事を目指しています。(その人の想いを肌で感じ、互いに支え合って生活を送れるように努力しています)	○	今は信頼関係が築けるようになって来ています。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時話しを伺う事で入居者を一緒に支えていますという思いを共有することで共に支えあう関係を築いています。(情報の提供も行っています)		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居時など家族から話を聴き、少しずつですが良い関係が出来つつあります。私たちが利用者・家族との掛け橋役になれるように支援していきます。(良きパイプ役を目指しています)		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人からの希望があれば家族に連絡し外出できるように手助けをしています。	○	常に声かけを行い、馴染みの物は何か収集に努めています。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	孤立した入居者が出ないように状況の把握を行い職員が積極的に関わりが持てるように働きかけています。	○	入居者同士が仲良く過ごせるような環境・雰囲気作りを目指しています。

項 目		取り組みの事実 (実施しています内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいますことも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	終了時には「いつでも気軽に相談して下さい」と伝えていきます。またお会いする機会があれば声をかけて頂いています。	○	気軽に遊びに来てもらえるように声をかけて行っています。(事業所以外でお会いした時積極的に声をかけています)。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人から要望があれば、出来る限りその思いに添えるように努めています。要望が見られない時も、日々の生活の中から思いを感じ取り実施して行ける様に努力をしています。	○	困難な時は家族より情報を頂き参考にし、役立てています。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族から情報を頂き職員全員でサービス利用状況の把握に努めています。	○	面会時に情報を得ています(最近まで一人暮らしの方が多く家族の記憶も薄れています)
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの現状把握は出来ていますと思います。(申し送り時、個人記録、職員間の話し合い等を通して)	○	自己判断しないで事実だけを申し送るようにしています。(小さい事でも個々に感じたことは話し合い職員全員が把握するようにしています)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月1回のモニタリング、また必要に応じてのアセスメントを、担当職員を中心として行い計画の見直しを行っています。	○	常に家族との話し合いを行い必要に応じて介護計画を作成しています。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	見直しが必要と意見が上げれば、早急に見直しをしています。		

項目		取り組みの事実 (実施しています内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいますことも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録をしっかりと記載することでケアの実践の見直しに、活用出来るようにしています。(記録の大切さを話し合い、みんながわかる、また共有が出来る記録の記載を常に話し合っています)	○	新しい職員が増えたため、今一度記録の大切さを一緒に勉強中です。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	多機能性については、今のところは医療面に関してのみで往診や医療処置を受けながらの此処での生活の継続を支援しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消防、民生委員(見学)、ボランティアとの協力支援は出来ています。	○	警察との協力体制は未だ出来ていない。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	事業所に入居後、家族からの要望は見られていません。	○	散髪、歯医者等の活用の支援は出来ています
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	センターとの連携(常に情報の共有)はしていますが家族からの申し出はありません。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約・入居時にかかりつけ医の確認を行い適切な医療が受けられるように説明を行い、支援を行っています。	○	かかりつけ医の紹介を頂き、その後も適切な医療が出来るように援助を行っています。

項 目		取り組みの事実 (実施しています内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいますことも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	入居者の症状を理解しています医師により常に受診できるように支援しています。	○	正確な情報が報告できるようにしています。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	相談に気軽に応じてくれています。(勉強会を開催しています)	○	正確な情報が報告できるように勉強会を開催しています。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には情報を提供し、家族・本人にも安心して頂く様に努力しています。(職員は常に病棟に伺い状態の把握に努めています)		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居・契約時に説明を行っていますが、家族の方は実感が少ない様子です。	○	元気な時に話し合いを行っているのでなかなか難しいです。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	連携を密にして急変時の対応がスムーズにできるように準備ができています。	○	医療との連携は密に行い、医療連携マニュアルなどで対応しています。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	申し出があれば詳しい情報の提供を行うことで、安心して住み替えが出来るように関係者に周知しています。		

項目	取り組みの事実 (実施しています内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいますことも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	申し送り、カンファレンス等において職員は重要性を確認しています。新しい職員に対してもプライバシーの保持の大切さを理解してもらう為に勉強会を開いています。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	常に声かけを行い、表情や全身の反応をしっかり見定め、出来る限り自分の思いを表に出して頂ける様に、馴染みの中で支援しています。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの希望に添えるようにしています。その日の体調、気分にあった支援を心がけています。その人の思いをくみ取り支援しています。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	入居者と共にその日に着る服を選んでいきます。散髪は3か月に一度実施しています。またご本人の行きつけの美容院、理容院の人が来てくれています。(家族と馴染みの美容院に行かれています)	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は施設側で決められています。(他の関連施設との関係があり当事業所だけの希望は難しい面があるがリクエストはしています)	○ 嫌いな献立の日は、前もって違う献立を提供できるようにしています。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	酒、タバコは禁止となっています。家族と相談しながら好みの物を提供できるようにしています。交代で入居者のおやつを買いに出掛けています。	○ 毎週日曜日買い物に行き、好みのおやつを買っています(家族よりお金を預かっていますかたのみ)

項目		取り組みの事実 (実施しています内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいますことも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個々のリズムを大切にしています。(チェック表を利用)出来る限りトイレでの排泄が出来るように支援しています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は原則決まっていますが、その日の気分・体調に合わせています。本人から入浴の希望があれば、時間の許す限り希望に添えるようにしています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	不眠時は職員とともに時間をすごし温かい飲み物を飲んで頂くなどして落ち着いて頂き入眠出来るようにしています。	○	常に状態の把握に努め、適切な対応が出来るように心がけています。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	その人にあつた役割を持って頂き感謝の気持ちを伝えていきます。(支援が出来ており、楽しみの時間を増やしています)	○	全員に役割は難しいが一緒に物事を行う事で感謝の気持ちを伝えていきます。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族との話し合いで事業所で預かり、自分で毎週パンを買っています方がいます。	○	買い物時希望の商品を買えるように支援しています。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気のいい時には外に出掛けるように心掛けています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族・本人の申し出により外出されています。(本人の希望を家族に伝えていきます)	○	家族の協力を得て支援しています。

項目		取り組みの事実 (実施しています内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいますことも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望があれば電話をかけてもいいか尋ね援助をしています。家族に年度末には年賀状を書いて郵送しています。	○	家族の了解を頂いています方には本人の気持ちが何時でも伝えられるように支援しています。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気軽に訪問して頂ける様に心がけています。(連絡をしています)	○	面会時ゆっくり過ごせる場所を提供したいが、難しく居室でゆっくりして頂いています。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員も拘束の意味を把握を行い勉強会を開くなどして取り組んでいます。	○	家族には面会時、契約時に説明し、医師、看護師、介護職員は拘束のない事業所を目指しています。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵は常に掛けられています。契約時家族に説明を行い了解を得ています。(事業所前が病院の駐車場・国道の為危険回避の為)	○	鍵のない生活は改善されていないが出来るだけ意識のない生活が出来るように目指しています。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	その日の日勤者は入居者の状況の把握が出来るように努め、また日中居室で休まれています方、夜間帯時はその方に合わせた対応を行っています。	○	入居者の方の安全を第一と考えてのケアを行っています。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	保管場所を決めています。また入居者の動きに十分に注意を払っています。(入居者の目の届かない所に保管、必要に応じて使用)		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	職員間での共有認識を持つ事で、事故防止に努めています。	○	ヒヤリハット等で再確認を行い、話し合いをすることで事故防止に努めています。

項目		取り組みの事実 (実施しています内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいますことも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルがあり、常に対応出来るようにしています。常に医療連携機関との連絡を密にし、互いに発生時には対応が出来るように話し合っています。	○	話し合いの中で急変時に冷静に出来るか不安を訴える職員が多数おり常に冷静な対応が出来るように頑張っていきたいです。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火訓練を実施しています。(消防署の指導を仰いでいます)今年から地区の老人会の方が訓練に参加して頂ける予定です。	○	実際に火災が発生した場合、どのように対応したらいいのか分からない。(他の施設の応援体制は一応はあります)運営推進委員会でも協力はお願いしています。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入居時に説明、面会時には常に声かけを行い、近況報告をする中でリスクが発生することがある旨を話しています。	○	常に状況の把握に気をつけ家族には安心して頂ける様に努力をしています。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	職員は入居者の状態把握に努め、お互いの共有として、すぐに対応出来るようにしています。(職員の温度差が気になっていますが互いに話し合い行い情報の共有化に努めています)		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全員の薬の理解は難しいが看護師に確認、薬局に説明を受けたりしています。薬の説明書を個人のファイルに保管し参考にしていきます。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分を取ってもらい、運動してもらっていますが薬に頼っていますのが現状です。	○	栄養士に相談し食事の内容を検討して行きたいと思っています。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後のケアが大切だが難しい時があり十分に出来ていませんが、夕食後は必ず口腔ケアの支援は行っています。		

項 目		取り組みの事実 (実施しています内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいますことも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養面に関しては栄養士に一任しています。職員は食事量のチェックを行い、減少されています方には調理方法を栄養士に依頼しています。又主治医にも報告し指示をいただいています。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザの予防接種は入居者、職員全員が実施しています。手洗い、マスクの使用を義務とし、タオルの共有は禁止、ペーパータオルを使用しています。	○	感染症に対しての(時に応じて)話し合いをしています。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	衛生には十分に注意しています。食材は厨房にて管理。水周りの清潔衛生には気をつけています。また家族の方にも協力をお願いして生ものを持って来られた時は職員に声をかけるようお願いしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関は他の事業所との共有となっています為独自のくふうは難しいのですが。出来るだけ家庭的な温かみを感じて頂ける様に演出しています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	少しでも温かい雰囲気を感じられる空間作りを目指しています。	○	テレビは必要時以外は消して静かな時を過ごしてもらっています。生活感、季節感を取り入れた生活を取り入れたと思っています。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファでゆっくりとして時間を過ごして頂いています。		

項 目		取り組みの事実 (実施しています内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいますことも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の方に協力をお願いして落ち着ける居室が出来るように支援しています。(気持ちよく協力を得ています)		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	常に換気に気を付けています。においが気になる時は芳香剤の使用をしています。	○	朝起床時天気が良ければ窓を開ける等を行い換気に気をつけています。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、トイレには手すりがあり、安全に歩行出来るようになっています。	○	状況に合った環境作りが出来ていないが、職員がそれぞれ知恵を出し合い対応をしています。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	混乱、失敗が見られたときは速やかに対応できるようにしています。	○	職員が話し合い統一したケアが出来るようにしています。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	散歩を楽しんでいます。(車の出入りがあり注意が必要)	○	ベランダの活用をしてみたいです。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている		①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
		○	③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

連携医療機関と併設していることもあり、医療との連携に力を入れています。(入居される方、御家族の方の多くも希望されています。)少しの状態変化に気づけるよう日々取り組み、変化があれば日中、夜間問わず医師、看護師に状態を報告し指示を頂き対応しています。平成12年、開設以来高齢化が進み認知症も進行もし、できなくなったりする中、入居者が混乱しないように普通の日常生活が送れることを最優先しています。また地域ボランティア、小・中学生の体験学習など受け入れ態勢を整備し気軽に訪問、交流が図れるように努めています。外部の方とのふれあう機会も多く入居者の表情も和らいでいるように思われます。